

期 日：平成 27 年 9 月 16 日（水） 18 時 05 分～19 時 05 分（P T A役員会前）

場 所：蓮沼中学校 1 F 視聴覚室

参加者：蓮沼中保護者 27 名、校長・教頭・教職員

【意見内容と回答】

◎男性

いろいろ説明いただいたが、書いてあることが誰のための適正化というのが全く見えてこない。内容を見ると今現在、各地域に小学校、中学校がそれぞれあって確かに人数は少なくなっている。ただ学校を減らすことで単純に言って経費（運営費）が減る。この資料からはそれしか見えてこない。まず、中学校を統合することになると、当然、通学の距離が長くなる。そうなった場合、今まで通ったことの無い道路を通るということは、交通事故や不審者に遭遇するなどの問題が出てくると思う。そういった面で、インフラ整備が今現在、全くされていない。特に蓮沼からだ、松尾に上って行くには空港道路（はにわ道）があるのでまだいいが、それにしても街灯がないとか、自転車が走行するための専用車線も整備されていない。仮にこれが成東東中との統合という形になると、はにわ道以上に何もされていないので非常に危険であると思う。そういう状態で、例えば、砂押県道は管轄が県なので、市として簡単に工事をする事ができないのは分かるが、それについては、市として子どもの通学が非常に多いので、道路を広げてくれとか、車線を設けてくれということは可能なのではないか。そういうことを何もやらないうで、適正化するために学校を統合するというのは本末転倒だと思う。やはり誰のための適正化なのかということである。まずやはり、今現在、確かに蓮沼中にしても蓮沼小にしても人数が少ないが、この資料にもあるように、先生や保護者たちの目が届きやすいというというのが、まず一番いいことだと思う。その反面、確かに学力などは多少固定化するかもしれないが、それは努力というかやり方しだいでもどんどん変わると思う。なおかつ、統合した方が学力が相対的に上がるのかといたら、これははっきり言って疑問だと思う。切磋琢磨とよく書いてあるが、あくまでも勉強というのは個人の資質と言うか努力に応ずるものなので、他人がいくら多くいようがあまり関係ないと思う。であれば、もっといわゆる業者のテストみたいなものをして、外部との差を見るとかやり方はいろいろあると思う。私は教育に対しては素人なのではっきり言えないが、あくまでもこの資料を見てみると、市としての経費を抑えることが主眼のようにしか受け取れない。ましては、小学校も大平小と蓮沼小を統合すると書いてあるが、これだけ縦に長い地域を小学生に行き来させるのはおかしい。常識を考えてもここから大平の学区の一番端まで考えても 6 km～7 km くらいある。蓮沼の端からすれば 10 km 近くなる。そこを小学生に歩けということか。そうすると当然、スクールバスになると思うが、そうすると子どもたちは好きな時間に帰れない、部活もやっているの。先ほど、小学校はこのまましばらくいくと説明があったが、私が考えるにここ（リーフレット）に書いてあること自体がおかしい。だからあくまでも、子どもたちが通学だとか、友達との交流するために移動することを考えたら、たくさん子どもたちが集まった方がいい訳では無い。小さいなら小さいなりに、まして小学生の場合は、そもそも移動範囲が制限されるわけである。そういうことを考えれば、こういうことがリーフレットに載ること自体、私はおかしいと思う。中学校にしても、先ほど部活動で合同チームが可哀想だといっていたが、逆に合同することによって、他校の生徒と仲良くなる事も実際にある。確かに、普段の練習で思うようにいかない部分は可哀想だと思う部分があるが、それは保護者が出来る限りのことをしている訳である。現状としては。実際に私の子どもも合同チームで土日になると送迎をしている。もっと子どもに寄り添ったものの考え方が出来な

いのかと思う。だから仮に教員が少ないから大変ですよと言うんだったら、市の権限で増やすことも出来ると思う。絶対に増やしてはいけないと文科省は言っているのか。増やしていいのであれば、市でお金を出せばいい。特に蓮沼中が3学級しかないので、先生たちの負担が大きいと思うんだったら、まず最初にそこから始めればいい。先ほど、9教科あって7名しかいないと説明があったが、だったら2名増やせばいい。ただそれだけのことだと私は思う。何のために市が税金をもらっているのか、何のために国から補助をもらっているのか、まずそれを考えて欲しい。こういう適正化の会議を何回もやったって、市の立ち位置は変わっていない。全くこちらに寄り添ってくれていない。

○教育総務課長

教育委員会として、今のご意見に対して、何のためにということ言えば、私どもとすれば、それは子どもたちのためにということからの適正配置案である。それが例えば、インフラ整備ができていないとか、距離が遠くなってしまったことに対する補完措置という形で、インフラについても、統合までの間に直せるものは直していく必要も当然出てくるだろうし、距離については、スクールバスということでの対応しかできなく、その中で部活動が出来なくなってしまうという弊害も確かに出てくるが、それをどのようにして解決していくかについては、もしその方向性が決まって、そういう形で動き出す前の話し合いで、いい方向にいけばと考えている。教職員の配置については、確かに市の方で負担すれば配置ができるのではということ、確かにとおっしゃるとおりである。私どもとすれば、今回の説明会、蓮沼地域ではこれで3回目の説明で、同じような内容の話で恐縮だが、この場でご意見をいただいて、今後どうするかという今後の話むきについて、考えていく1つの判断材料にさせていただくということでの説明会になってくと思う。最初にやった意見を聴く会、小学校区での説明会、本日の中学校区での説明会ということで、それぞれ対象が違うこともあるので、そこで説明させていただいたことを、全体的なご意見としてまとめて判断させていただいて、今後の進むべき方向、教育委員会の考え方について、また改めて検証していくことにつながってくると考えている。なかなか今のご意見(考え)と私どもとでは、距離はまだ今の段階ではあると受けている。あとは、他の人の意見も伺って、そういう中で全体の方向性として、蓮沼中についてはどういう方向がいいのか、蓮沼小はどういう方向がいいのかという意見をいろいろ伺って、この先、教育委員会としてどういう考えをもったらいのかという判断をさせていただければと思う。今の段階であまりいい返事ができず大変申し訳ないが、ご意見として受けさせていただく。

◎男性

市として教員が少ないということに対して、増置教員を市で予算化することは考えていないのか。

○学校教育課長

増置教員については、県からの派遣になるのも市でやるとすると、市で単独でその職員を採用するというような形になる。その方法でしか市で職員を増やすということとはできない。現在、実際にやっていることでは、小学校で少人数指導講師ということで、算数を中心にした講師を採用して、単年度契約だが小学校に派遣しているという実績がある。市で雇用する場合についての雇用の部分については、将来的にも採用した人については考えてあげなければならない部分のあると思う。それは子どもたちからの視点からずれてしまっていると言われればそれまでだが、市の方で市単独の職員を確保すること、これは、財政的なものも含めながら検討していけるころではあると考えている。それから、基本的に子どもたちのためになっているかということでは、前回からもお話している中で考え方は同じであるが、まず、子どもたちの成長、発達段階に応じた学校教育が必要だろうという中で、小学校の小さな子どもたちには、よりきめ細かさが必要だろうというようなことは当然だと思う。しかし、これが義務教育を終える中学生の段階になってきた時に、将来たくましく生きていくための基礎を培う時期であると

いうことを考えていった時には、小学校においては、すごくきめ細かく丁寧にやっていくことは大事である。しかし、中学校では同じことではなく、中学校ではより多くの友達や考え方に触れる中で、他者との違いを知ったり、知ることによって自分の理解につながる。そこには葛藤などがあると思う。そういった新しい刺激を受けながらいった方が、よりその子の将来はたくましくなれるのではないだろうかということが、適正規模の考え方である。小学校については、複式学級は解消した方がいい。何故かという1つの教室の中に、例えば、3年生と4年生が同じ時間に授業を受けている。片方は3年生の授業の内容、もう片方は4年生の授業、そうすると1つの授業が半分ずつになってしまう。そうすると、その子どもたちの学力はどうになってしまうのかというようなこともあるので、複式学級については、子どもたちにマイナス面が出てくるだろうというようなことで、優先的に解消していこうということである。いままでいただいた意見を踏まえて小学校については、そういった方向でいこうと考えた。ただし、中学校については、その発達段階等を考えていった時に、その子どもたちが将来生きていくうえではどうだろうかということは、やはり、適正規模にしていってあげた方が、子どもたちのニーズや子どもたちの将来の生き方にもプラスになるのではないかというような考え方である。これについては、様々な立場の中から、ご意見があるかと思うので、それについては再度お伺いしていきたいということである。

◎女性

例えば、こういう説明会を開いた時に、小さなお子さんがある保護者などは、なかなか参加したくても、意見を聞きたいと思っても来られない方もいると思う。成東中学校区については、成東中の校舎が老朽化していて、いろいろ説明会とかを1学期に開いたと聞いている。人口の比率とすれば、蓮沼は小さいので、同じ山武市の子どもとして生まれたからには、小さなところの地域に生まれた子どもに不利になることが考えられる。成東中は統合した場合には、新しく校舎を建てるようだが、蓮沼の場合には人数的に、松尾中が新しいからそのままずっと入れれば簡単ではないかというような、地域外の人から見ればあそこは校舎を建てる必要がないというよな。でも成東の場合は、地域の真ん中に校舎を建てるというような意見がでていっているらしい。実際に1つの学校としての予算を分け合う訳なので、他の地域の保護者の方々がどういった意見を出して、市の方がどういった回答をしたのかがすごく知りたい。こちらでも要望を出す時に、それは少し無謀ではないかという意見になってしまうのではということで、言いたくても言えない部分もあるので、他ではこれくらい言って、このくらいの要望なら聞き入れられるとかという、市とのやり取りの感じが知りたい。例えば、そういったことをホームページや配布物で見られるといい。他の学区がどうなっているか決定してから聞いたのであれば、他でこういう要望がとおるんだったら、もっと頑張ってあげた方がよかったのではと思うこともあるかも知れないが、決定してしまった場合にはもう覆せないの、決定していく段階でもっと情報をいただきたい。また、この計画自体が、話し合いで1、2年、そこから3年くらい最長で5年位かかってしまう訳だと思うが、今、ここにいる方で下の子がいる方はいいが、中3の子が一番下という方もいると思う。本当はこういう話し合いに参加するのは、小学校の中学年くらいに子どもがいる保護者が参加した方がいい。実際にここで私たちが意見を出して、自分の子どもたちは蓮沼中で卒業できるかもしれないが、全く話し合いに参加できなかった保護者が、知らないうちに松尾中に行くこと決まってしまうのでは、何の要望もできない。例えば、基幹バスなども学校の時間帯には合わない、朝、高校生が通うにも使えない時間帯しか走っていないので、雨の日に送り迎えができる家庭はいいが、出来ない家庭では合羽を着て松尾中までいくことになるのかなり大変である。そういった対象になる子どもたちが、そういった問題点にも気が付かないで、中学生になってみたらそういうことになっていて、実際に親に頼らなければ通学することが難しい状況に直面する可能性もあると思う。また、仮に統合が決まった時に、自分が卒業するまでに統合が

決まるのであれば、卒業を蓮沼中で出来る子はいいいと思う。でも、1、2年生は卒業できないなら最初から、入学するときから松尾中を選択して、卒業するときは蓮沼小出身の子と一緒に松尾中で卒業できるから、最初の1、2年は我慢しよう、遠いけど頑張ろうという子もいると思う。ただ、まだ統合していないので、スクールバスが運行してなくて、通学するのも大変なことも考えられる。そういった意見とかは、本当はここにいる中学生の保護者だけではなくて、対象になる年代の保護者を含めた話し合いをしなければいけないと思う。

○教育総務課長

私どももこれから対象になってくる方は、いま中学校に在籍されている生徒よりは、小学生や幼稚園などに通っている方のほうが影響を受ける可能性があるので、そういった意味から小学校区、中学校区の他、こども園や私立の保育園も含めて、説明会を行うということで日程調整をしているところである。そういう中で、私どもの今現在の考え方について、ご意見をいただくということで予定をしている。それから、統合する時期が分かって、それなら先に統合先の学校へ行くという方もいると思うので、なるべく、私どもとすれば、いつ頃からということをはっきりさせ、早目にそういう案をつくりたいと思っている。ただ、こういう話し合いをしている中で、それが案として話し合いのための資料としては、私どもからある程度の具体的な案をお示ししないと意見交換ができないのではということからは、ある程度の具体的な案を出して、市の考えをお伝えして、それに対する地域の方や保護者の方のご意見を伺うことを考えている。ただ、その案をお示ししても、なかなかご理解いただけないということであれば、スケジュール通りに業務をこなすということはできないので、そうなってきた時には、それか先に延びていってしまうことは想定される。一旦はお示しするが、スケジュール通りに進めていけるかどうかは、こういう話し合い続けていく中で決まってくるものと考えている。あと、他の地域での説明会の内容については、ホームページ等でお示しすることは可能かと思うが、それについては検討させていただきたいと思う。成東中については、校舎の老朽化のことがあって保護者の方が署名運動をされて、建て替えの要望書のようなものをいただいた、それから議会での一般質問もいただいて、その中では規模適正化の話し合い、検討をしている中なので、その中で方向性はお伝えしたいということで、はっきりと成東中をどうするという回答はしていない。案としては確かにいろいろ出ていた。地域の真ん中に建てるという案もあったし、成東東中にいくというのも1つの考え方だろうし、まだ、成東中がこうなるという決まったものはもっていない。確かにお金だけ考えれば、成東東中が新しいのでそのままいけば、ただ、今の時期の成東中の生徒数と成東東中の生徒数を足して、成東東中の校舎に納まるかといったら納まらない。しかし、ある程度の年数が経てば納まる時期がくるということからすれば、1つの選択肢として成東東中を使うことも当然あり得るということでは考えている。他の地域での説明会でも、概ね本日と同様に説明をしている。そういう中で、具体的にどこの学校を使ってどういう時期にという話は、どこの地域にもしていないので、この説明会がある程度進んで、市長部局とのいろんなシミュレーションの結果、たたき台の案を何とか年内中にはまとめて、来年の2月、3月ぐらいに説明ができて、そこでまたご意見をいただきながらやっていければということで考えている。

○学校教育課長

先ほどのご意見の中で非常に大切なお話をいただき感謝申し上げる。何かと言うと、対象になっているお子さん、保護者、具体的に言うと在学中にひょっとしたら統合してしまうかもしれない。それは現実的に起こり得る話であり、それについては、そういう想定をしている。その時にどうしたらいいかということは、これまでにいろいろと議論を重ねているが、これがいいというのはなかなか見つからない。そういう中で、そういった対象になっている方々との話し合いは本当に大切だなと改めて受けとめた。貴重な意見をありがたく思う。

◎女性

成東中と成東東中を統合するというのが、そもそも無理やりではないかと思う。生徒数をみてもそんなに減る訳でもない。この2つを統合するよりは、私の地域は成東寄りの地区なので、松尾中に行くよりは、成東東中に行ったほうがずっと近いので、海岸地域は海岸地域でまとめるとか、蓮沼地域は蓮沼地域でまとめて松尾中ではなくて、別に全ての子がそこに行かなければいけないのではなくて、通学距離とかをもっと柔軟に考えて、学校の配置とかも、もし、建て直すんだとしたら、こういうことも考えて位置を決めたりして欲しい。小学校もそうだが、私たち若い世代にとっては、子どもが通う時の便利さとか、不便さとかが、そこに住むかどうかの決定の判断材料にもなったりする。山武市は人口が減ってきている。できれば他から移り住んできて欲しいくらいの感じなのに、学校をどんどん減らしていったら、山武市にはいけないと誰もが思うと思う。例えば、実家が蓮沼にあってできれば帰ってこようと思っている人も、学校が近くになくて遠くまで送り迎えしなければならない、共働きの家庭ならなおさら蓮沼に戻るのをやめてしまうと思う。そうすると、どんどん若い世代が減っていつてしまうと思う。若い世代が減っていくという自治体は、これから衰退するしか考えられないと思うが、そういう対策とかは市としては考えていないのか。

○教育総務課長

今回お示しした案については、いろんな地域性であるとか、例えば、蓮沼の学区を分けて、こっちからこっちは成東東中の方が近いからというような、お示しの仕方よりは1つの学区でまとめて統合という考えで、1回お示しさせていただいた方が、ご理解いただきやすいのかなということでお示しした。その中で、例えば、こういう組合せになった時には、隣の学校の方が近いという方については、それは学区の弾力化ということで、学校を選択できるようなそういう考え方で対応もできるので、一旦はまずこういう形でお示しさせていただいたということである。成東中と成東東中の組合せについては、確かに今現在の規模は大きいですが、今後の推移をみていくと成東東中の下落率が大きく急に減っていく。今は市内で一番大きい学校だが、平成39年度推計を見ると、成東中の方が規模が逆に大きくなっていくくらいまで減っていく。その下落はおそらくその先も同じだということからすれば、今は確かに大きいですが将来的には規模とすればそんなに大きな組合せではないと考えている。人口が減少している市の先に将来は無いという考えは確かにある。そういうことから、市でもこれは全国の自治体でもそうだが、今、地方創生ということで、この地域をどうやって生き残らせたらいいのかというところの取り組みを、市をあげて考えて、いろんな意見をだして計画をつくっているところである。その計画が実際に動き出して、どういう結果で人が、完全に人口が上昇していくということはなかなか難しいと思うが、この人口の減りをとにかく減り幅を下げる、少しでも減らないようにしていくという取り組みを、今まさに考えているところである。その結果がでるまでの間でも、学校規模がどんどん小さくなっていくというのが見込まれている間は、こういう形で規模を整えていくという考え方を1つの選択肢として、私どもは提案させていただいて、それに対してご意見をいただきながら進めていければと言うことで、この案を各地域で説明しているところである。人口を増やすような取り組み、施策は今まさに検討しているところなので、全くやっていないということではない。

◎女性

学校の配置とか学校の数とかが、そういう人口のことにも密接に関わってきているということは、分かっていたいただかないと、やはり、これから出産、子育てをしていく人には、それは非常に大事なことになるので、ぜひそういうことも考えながら検討していただきたいと思うので、よろしく願いしたい。

◎女性

先ほどの基幹バスの話で、通学時間を考えるともう一本早い時間帯の運行があったほうがいと便利だと思うが、運行時間についての変更は可能なのか。

○教育総務課長

そういったニーズは当然あるので、基幹バスを所管している企画政策課へお知らせするが、今も使っている方がいるのか。

◎女性

高校に通うのに基幹バスを使いたいが、電車の時刻に間に合わない。蓮沼地域では朝の通学時間帯に基幹バスは使えない。空港シャトルバスは乗り継ぎが悪くて、バスが着いてすぐ電車が発車してしまう。高校生になる子どもがいるが、高校へは自転車で行くか送り迎えをするか、そういう選択に迫られている。

◎男性

基幹バスの運行時間の変更は、簡単にできるのではないか。日中の時間帯はほとんど利用者がいない。基本的には、電車の時間に合わせて欲しい。よろしくお願いします。

○教育総務課長

基幹バスの件については、いただいたご意見を早々に企画政策課へお話しておく。

◎男性

市長の政策とかに関わることなので、あまり言いたくなかったが、市長が選挙にでて当選したが、その時の公約として、人口を増やす政策をやると言っている。しかし、現状を見るとまったくやっていない。先ほどの説明のなかで考えていると言っていたが、こういう形で人口がこれだけ減ってしまうということを出すこと自体がおかしいと思う。頑張ってみて将来的には現状ほどではないが、減少をゆるやかにしますよという資料があってもいいのではないか。

○教育総務課長

今それをつくっている最中であるので、今回は一緒に出せなかったが、間もなくそういう資料もお示しできるようになるので、その時は併せて説明をしたいと思う。